



二所一関



前相撲	序ノ口			序二段				三段目					幕下		十両	幕内	
	東8	西9	東8	東90	東73	東67	東44	西72	東59	東57	西50	西25	東24	西55	東29	東8	西関脇
古田	山田	総勢山	西勢郷	足立	阿見大心	今村	澁谷	林龍	谷口	佐藤	貴正道	藤宗	麟虎	麒麟龍	花の海	白熊	大の里
	2 5	4 3	0 1 6 休	4 3	3 4	4 3	1 6	2 5	4 3	3 4	3 4	1 6	3 4	2 5	5 2	優勝 12 3	殊勲賞 9 6

七月場所結果

序ノ口				序二段				三段目					幕下	幕内				
西16	西15	西10	西81	西79	西73	西56	西40	東14	東75	西66	西59	東39	西29	東19	西16	東16	西関脇	
西勢郷	古田	山田	阿見大心	澁谷	総勢山	足立	今村	林龍	羅漢児	佐藤改め	貴正道	藤宗	谷口	麟虎	麒麟龍	花の海	白熊	大の里

九月場所新番付

大の里、殊勲賞受賞。新入幕から4場所連続三賞は史上初の快挙!!

先場所の初優勝から一気に大関昇進の期待までかかった大の里。初日から硬さが見られ思うような相撲が取れない。苦戦が続く中、全勝の横綱照ノ富士との戦いで見事勝利。この白星が大きく殊勲賞受賞となった。しかし殊勲賞だけでは物足りなさを感じるほどの力士になっていることは間違いない。場所は麒麟龍と佐藤を付け人から従えて夏巡業に参加。この夏で鍛えて、九月場所では最速での大関昇進をかける戦いとなる。



花の海、谷口が見事な押し相撲で勝ち越し

怪我也有り、悩んでいた花の海が五勝の勝ち越し。最高位で臨んだ谷口も四勝で勝ち越し。両名ともに見事な押し相撲が目立った七月場所となった。入門以来、実直に押し相撲に励んできた2人。少しずつではあるが重さと実力がついてきており、今後が楽しみな存在である。花の海には3人目の関取の座を掴んでもらいたい。



白熊、12勝で十両優勝! 新入幕も決めて両手に花!

白熊が安定感のある相撲で見事に十両優勝。念願の新入幕も決めた。五月場所では後輩の大の里のパレードでの騎手を務め、悔しさを押し殺し一番祝福する姿からは奮起の予感があった。右四つの安定感のある相撲は幕内でも十分に通用することであろう。ぜひ大の里に続く三賞受賞、そして優勝へと勝ち進んで欲しい。



古田が前相撲を終えて出世披露

日体大相撲部から日体大職員を経て入門した古田が前相撲を終えて無事出世披露を受けた。今までは軽量級の土俵で戦ってきた古田にとって、無差別級になる大相撲での戦いは苦戦を強いられたデビュー戦となった。二所ノ関親方の熱い指導のもと、基礎運動に勤しむ日々が続く。同級生の大の里に追いつくべく、戦いは始まったばかりである。



二所ノ関親方の総評コーナー!

名古屋場所、まずは大の里です。苦しい戦いが続く中、横綱に勝つことができ殊勲賞を受賞したことは良かったです。前半戦に苦戦したことを良い教訓とし、九月は大勝ちを期待します。白熊は初日に完敗、正直、私もかなり心配しました。しかし心配をよそに自分の相撲を貫き、優勝と新入幕を決めたのは大したもの。仕切りから自信が漲っていましたが、全ては場所前の稽古で自信をつけた事が大きかったでしょう。相撲に向き合う姿勢が良くなり、九月も楽しみです。幕下以下では花の海が力強くなりました。最後の取組では十両経験者に完敗、ここを勝ち切ることができれば関取が見えます。全体として勝ち越し少ない場所でした。連日の猛暑で体調管理の結果が相撲にも顕著に現れた印象です。敵は土俵意外にもあり、九月は自己管理をしっかりして良い場所にしたいと思います。

佐藤改メ 羅漢児 寛大に改名

羅漢児 寛大 (らかんじ かんだい)
佐藤の出身地である大分県中津市の有名寺院・羅漢寺が語源。「羅漢」とは仏教において一切の煩惱を断ち、悟りを拓いた尊敬を受けるに値する者、という意味がある。この最高段階に近づけるようにという意味が込められており、現在はその域に達していない修行中の身であることから「児」という文字が付いた。その域に達した暁には、次の事も二所ノ関親方は計画しての改名かもしれない。「寛大」は二所ノ関親方の名前から一文字取り、言葉の意味通り、器の大きな力士という期待が込められている。